

土の中から出てきたのは

<今月の聖句> 「見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください」
(ルカによる福音書15章4～6節)

「すぐにきてもらえますか」と園長内線に連絡があったので
ゆり（1歳児）の部屋に急いでかけつけた。ドアをあけると
子どもたちが四方から集まって、床の一か所をのぞき込んでいる。
「何かあったのか」あわてて、小さな頭越しに首を伸ばすと
広げたシートの上に、もっこり、土が山盛りに。
「なっ、なんで、こんなことに？」と問うが早いか
「山腹」の表面のあちこちが、むくっ、むくっとうごめいてる。
ただ驚くばかりのわたしの目の前に、土の中から現れ出たのは
太さも長さも親指の2倍程度、しっとり濡れた、にぶい乳白色の…
「なんじゃこりゃあ！」
すると、ひとりの子が静かにゆっくり教えてくれた。
「カ・ブ・ト・ム・シ」

そういえば、夏ごろ、数匹飼っていると教えてもらっていた。
なのに、その後どうなったか、すっかり意識の外になってしまった。
実はその間、卵を産み、孵化し、どんどん大きな幼虫に育っていた。
きれいな土マットでお正月を迎えてもらおうと
クラスのみんなで年末の大掃除をしている最中だった。
そこに次から次と姿を現したのが、特大の幼虫兄弟たち。
総勢、なんと32匹！
子どもたちも目を丸くしながら、一匹一匹、そっと丁寧に
ナイロン手袋の手のひらにのせながら
ぴかぴかにしてあげたおうちへお引越し。
「あけましておめでとう」は土の中だったね。
やがてもうすぐサナギになって、しーんと静かになって
こんどまた一緒に遊べるのは、5月かな？
その頃には君たちみんなも、ひと回り大きくなっているね。
(つくし保育園園長 つだかずお)

<礼拝のご案内> 日曜日は教会へ！ お庭のチャペルで礼拝しましょう
毎週日曜日あさ10時30分 だいで教会
懐かしい讃美歌、楽しい聖書の話
ご家族で一緒にどうぞ